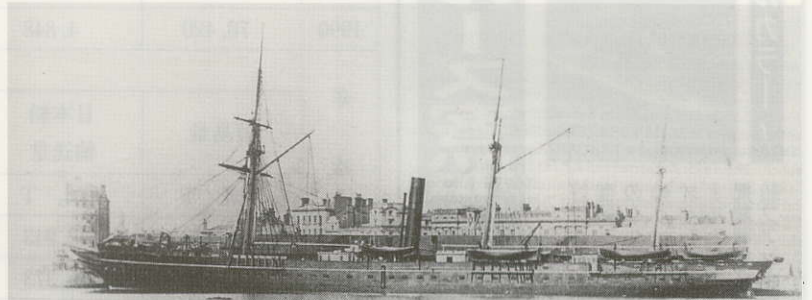
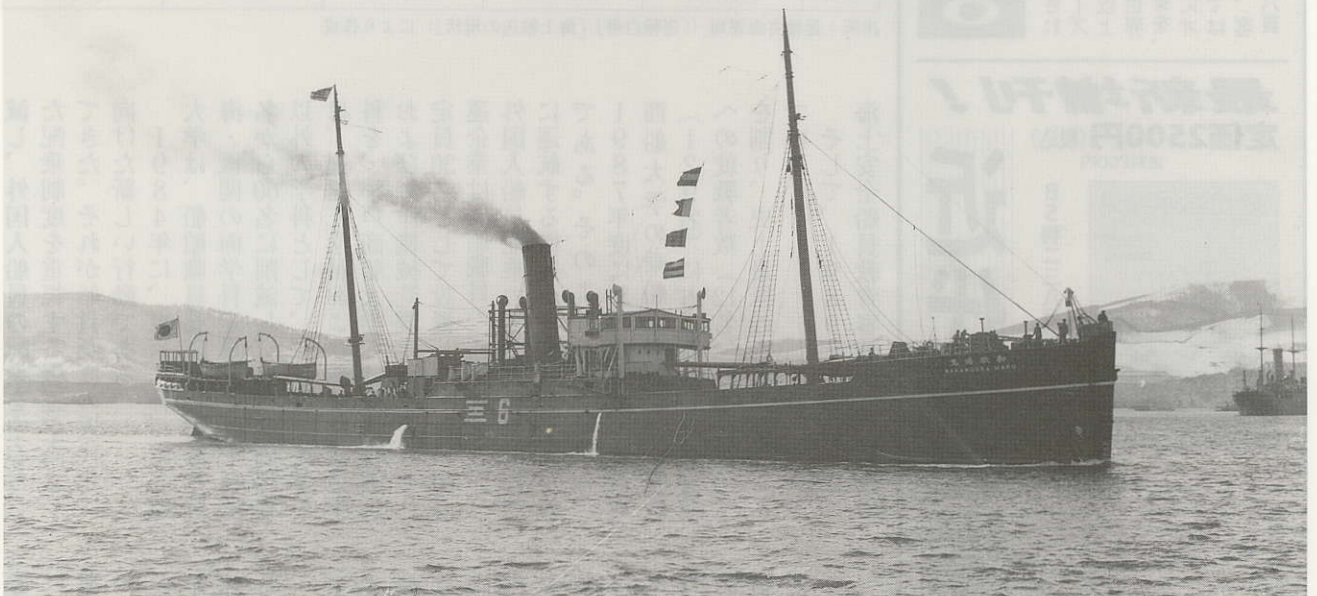


# 日本海運の創業期に活躍した 英国生まれの 鉄製汽船



初代「和歌浦丸」の前身「カンディア」(W.S.S.「P&O-A Fleet History」より)



2代目「和歌浦丸」(小樽市総合博物館提供)

## 和歌浦丸 (初代・2代目)

≪ 主要目 ≫ 初代「和歌浦丸」：鉄製汽船、三委会社所有、2,197総トン、垂線間長92.3メートル、型幅11.9メートル、主機2連成汽機1基。  
 安政元年(1854)英 C.J.Mare&Co.で竣工。明治26年(1893)解体。元 Candia  
 2代目「和歌浦丸」：鉄製汽船、日本郵船所有、2,510総トン、垂線間長99.4メートル、型幅10.8メートル、主機3連成汽機1基。  
 明治18年(1885)英 Sir R.Dixson&Co.で建造。昭和18年(1943)三陸沖で米潜の雷撃を受け沈没。元 ChingWo

## なぜか長命な鉄製汽船

19世紀の中ごろ、短期間だが、欧米で鉄製汽船がさかんに造られた。有名な巨船「グレート・イースタン」も鉄製汽船である。短期間に終わったのは、鉄(iron)よりもさらに造船材料に適した鋼(steel)がすぐに出現し、鋼製汽船の時代になったからだ。

当然、大量の鉄製汽船が不用になった。その多くは途上国に売却された。中でもたくさん買ったのは、明治中期までの日本である。航路開設による汽船需要のほか、台湾出兵、西南戦争、日清戦争といった軍事要請があったからだ。国内造船業はまだ、急場の汽船需要に応じるほどの造船能力はなかった。

筆者が前から注目しているのは、この時期の鉄製汽船が、たいへん長命であったことだ。船齢50年程度はざらであり、第2次大戦まで生き残ったものも何隻かある。

なぜだろうか。鉄材は腐食が遅いのだろうか。一説によると、鉄は鋼に比べ不純物が多いため、表面に安定錆(腐食を抑える機能をもつ錆層)が生じるからだという。

ともあれ、明治中期までに輸入されたこれらの鉄製汽船は、日の丸商船隊の中堅船として、創業期の日本海運をささえた。

ここに紹介する「和歌浦丸」も、こうした鉄製汽船の実例である。初代と2代目が、と

もに鉄製輸入汽船というのは珍しい。

## ともに神戸―北海道航路で活躍

初代「和歌浦丸」の前身は英P&O社の「カンディア」である。カンディアはクレタ島の港都イラクリオンの別称。船名が示すように、地中海航路(サウサンプトン―アレキサンドリア)の定期船として誕生した。安政元年の竣工だから、かなりの時代物だ。

クリミア戦争にも従軍。その後、船体延長工事を受け、インド航路(スエズ―カルカタ)に転じた。日本船になったのは明治10年の西南戦争のときである。購入者は岩崎弥太郎の三菱会社。三菱はこのとき、「カンディア」など8隻を軍用に緊急輸入した。

購入価額は約3万ポンド。同船の建造費が約7万ポンドだから、船齢23年の老朽鉄船としては高い。足元をみられたのだろう。

西南戦争後は、三菱会社の定期船として稼動した。最初は「天草丸」という船名であったが、就航後まもなく座礁し損傷。修理後「和歌浦丸」と改名した。明治18年には、日本郵船の設立にともない同社に移籍。神戸―横浜―荻ノ浜(宮城県)―函館を結んだ。

官約移民を乗せてハワイにも行った。日本―ハワイ王国の渡航条約による移民である。条約が公布されたのは明治19年。同船はその翌年、横浜からホノルルまで航海した。官約

移民としては第4船にあたるが、渡航条約下の官約移民船としては第1船になる。

初代「和歌浦丸」は明治26年、船齢39年で解体売却された。同じ年、郵船は代替船として、初代よりすこし大きい鉄製汽船を英国から購入し2代目「和歌浦丸」とした。

航路は、神戸―横浜―荻ノ浜―函館―小樽航路。初代が就航した航路を小樽まで延長したもので、東回り神戸・小樽線と称した。通信省命令航路であった。

2代目の前身は英国船「チンウォ」。英チャイナ・ミューチュアル社の汽船である。

明治15年リバプールで誕生した同社は、明治35年に英ブルー・ファンネル・ラインに吸収されるまで、東アジア海域を中心に清国―北米西岸航路などを経営していた。「チンウォ」は船名からみて、清国海域で稼動していたのだろう。郵船はこの時代、同社から「金州丸」「山口丸」など5隻を購入している。

2代目「和歌浦丸」は、日清戦争、北清事変(義和団事件)、日露戦争にも従軍した。日本郵船で働いたのは28年間。大正10年に栗林商船、ついで昭和2年に日本工船漁業に売却され、漁業工船として晩年をおくった。右頁の写真は、漁業工船時代の同船である。

昭和18年8月、三陸沖で米潜の雷撃を受けて戦没。58年の長い船歴を閉じた。

山田 迪生